

先月に起きた経済まとめ

先月の経済ニュースをまとめて届けたいです。

2017年1月の特選経済ニュース

マネヤック経済新聞

平成29年
1月号

発行元 マネヤック

1月16日(月)

ライザップ、 ジーンズメイトを 子会社化

テレビCMの「結果にコミットする」でお馴染みのライザップが、ジーンズ販売会社を買収したというニュース。畑違いの業種を買収(関東を中心に約100店舗を構えるジーンズ専門店)したことで、今後のライザップの企業としての動向が気になる。

1月19日(木)

東芝 原発損失 7000億円規模も

誰もが知っている電気大手の東芝が、原発に絡む事業で多額の損失を出したというニュース。損失額が日に日に大きくなっており、いくら大手といえども我慢出来るレベルを超えてきたイメージがある。金融機関から支援を受けられれば、東芝がどうなってしまうのか分からない。最悪の場合には、大手老舗家電メーカーが無くなることもありえる。これについては、マネヤックサイト内のブログに詳しく説明されているので、そちらを参照ください。

1月26日(木)

タクシー初乗り 料金が410円に

タクシーの初乗り運賃は、国土交通省が決めるんだそうです。東京での施行となりませんが、今までは2キロを730円の初乗り運賃だったものが、1キロ強で410円になるという。「ちょい乗り」の需要を取りに行くということだが、果たしてその成果は出るのでしょうか。

1月16日(月)

NY平均が史上初と なる2万ドル突破

アメリカでは1月10日に新大統領にトランプ氏が就任。経済立て直しの手腕を期待され、株価は順調に上昇。史上初という株価にもなっている。この期待値がその通りになるのかどうか、トランプ氏の動向に注目が集まる。

編集部より

いい意味でも悪い意味でも世界的超有名人となったアメリカ合衆国第45代大統領のドナルド・トランプ氏。世界経済にも大きく影響を与えていることは紛れもない事実。投資家にとっても個人にとっても彼の動向には注目せざるを得ないという感じでしょうか。

★ 今月のキラリ名言

投機家にとって最大の敵は無知、欲、そして恐怖と希望の感情である。
(ジェシー・リパミア / アメリカの投機家・相場師)

+ 発表予定の重要経済指標一覧

米FOMC政策金利発表

連邦公開市場委員会。日銀の金融政策決定会合に相当する金融政策の最高意思決定機関で、現在は0.75%の政策金利を上げることが注目される。利上げするという事は、米の景気が上向いている、今後も上昇すると判断したからということ、今後の米国経済が発展することを公表するようになるもの。
(2月1日予定)

米非農業部門雇用者数

雇用統計の中で、失業率と並んで最も注目される指標のひとつ。事業所調査によつて、集計された就業者数。米国の指標の中で最も注目される指標の1つ。新大統領就任後の発表で、今後の政策方針を決定するための指標にもなる。
(2月3日予定)

※右記の各内容に関しては、正確な情報を掲載するように努めています。その内容を保証するものではありません。また、発表する団体・組織の都合で変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

～この本をオススメする理由～

【あらすじ】

「輸入」と聞くだけで難しそうなイメージのビジネスを、簡単に分かりやすく解説。そして、実際の輸入ビジネスのイロハを丁寧に解説。個人でも気軽に始めることが出来て、しかも儲かる！というメカニズムを、経験談や具体例を交えて説明している。

【編集部の感想】

普段の生活では接することのない「輸入」をテーマに、「これならやってみるんじゃないか」と思わせるほど簡単な内容です。実際にやるかどうかは別としても、輸入ビジネスに対する知識をもっておくことで言えば、とても分かりやすい一冊。いつかはやってみたいと思ってしまいました。



個人で始める輸入ビジネス

発行: KADOKAWA
本体価格1,400円(税別)
著者: ジェトロ認定貿易アドバイザー 大須賀 祐

マネヤック編集部が
オススメする今月の一冊

知性を満たす、私のライフブック

連載コラム

(全12話)

第1話 はじめての投資

「今日の株式相場は・・・」

主婦業を長く勤めるM美は、最近になって投資を始めた。といつても、知識があるわけではなく、ただ単に銀行の窓口で勧められた投資信託を買ってみた程度である。

銀行マンの説明では、「この投資信託は株式市場に連動しており、株式市場が上がれば投資信託の価格も上がるということ。旦那に内緒でコツコツ貯めた50万円のツクリを少しでも増やそうと思ったのがきっかけだった。」
「うーん、今日は下がってるわね・・・これで3日連続で下がってるわ・・・大丈夫なのかしら・・・」

初めて投資信託を購入して、既に1ヶ月が経った。買った時の価格に比べて約1割の値下がりをしている。勧めた銀行の話によれば、1年以上の長期で見てもおかないといけない、とのことだった。そうはいつても、初めての投資で不安が募る。このままの下がり方で1年間持ち続ければ、ツクリが無くなってしまうのではないかと思ってしまう。

「松田さんって、いらつしやいますか?」
M美は、いともたつてもいられず、担当営業の名刺に書いてあった銀行のコールセンター宛てに電話をして聞いてみようと思ひ、自慢のスマホで電話をかけていた。

「すみません、松田は外出しており、今日は戻らない予定です。お急ぎでしょうか?」

状況を聞きたいだけなので、急いでいるわけではない。明日また電話してみよう、とM美は諦めて電話を切った。

ツクリでの投資なので、家計に影響が出るわけではない。ただ、10年以上コツコツ貯めてきたツクリが短期間で無くなるのではないかという不安が、M美に容赦なく襲いかかる。

そういったタイミングで不安につけ込む悪がいるもので・・・

「ごめんください。〇〇証券の渡辺と申します」

いわゆる訪問営業だ。いつもならインターホン越しに「結構です」と断るところだが、証券会社なら専門だしちよつと聞いてみようと思つたのである。

「あなた、証券会社なら投資信託って分かる?」

「もちろんです。プロですから。専門分野ですよ」

この「プロ」という響きがM美の障壁を崩す。一瞬で。
「ちよつとお聞きしたいんですけど・・・」

【次回に続く】

世界の大富豪シリーズ ウォーレン・バフェット (米)



「投資の神様」ウォーレン・バフェット

「投資の神様」と異名を持つアメリカの大富豪。世界長者番付にも毎年名前を連ねる、名実ともに大富豪。総資産で600億ドル(日本円で6兆円)とも言われ、そのほとんどの資産は株式投資によって形成されていること有名。

初めて株式を購入したのは11歳の頃。今では世界一の投資家と言われ、数々の名言や株式投資における格言などを残している。

自身が会長兼CEOを勤める持株会社バークシャー・ハサウェイは、投資で年間20%以上の成績を残すことで有名。株主総会の様子はネットでも中継され、約4万人の視聴者がいたと報道されている。

彼の購入した株は注目を集め、彼が購入した株だけを買う投資家もいるほど。彼の言動のひとつひとつが大きなニュースになるほど。ちなみに、長期投資を基本スタンスとするバフェットは、日本株を購入していない。

株式銘柄(企業)のご案内

※銘柄の概要は2017年1月30日の情報を元にYahoo!ファイナンスより抜粋・掲載しております。
※本記事の株式銘柄は、あくまでもご紹介です。最終的な投資判断はご自身で行ってください。

オリエンタルランド(4661)

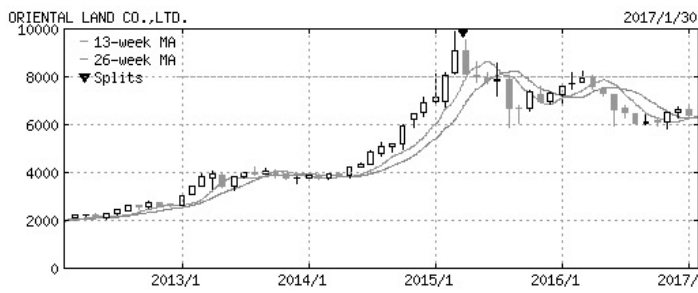
【企業情報】

前期売上	4,653億円	経常利益	1,092億円
上場市場	東証1部	決算	3月末日
概算株価	6,000円前後	単元株数	100株
株主優待	あり	配当	あり

【企業の概要】

- ・ リゾート施設「ディズニーランド」を代表して、ディズニーシーや周辺のホテル事業を行う会社。
- ・ 売上の約8割はリゾート施設の売上。
- ・ 株主優待としてディズニーランドもしくはディズニーシーの1デイパスポートが貰える。

【株の動き】



RIZAPグループ(株)(2928)

【企業情報】

前期売上	554億円	経常利益	46億円
上場市場	札幌アンビシャス	決算	3月末日
概算株価	800円前後	単元株数	100株
株主優待	あり	配当	あり

【企業の概要】

- ・ 減量ジム「ライザップ」を展開することで知られる。
- ・ ライザップの売上は全体の半分程度しかない
- ・ 最近ではジーンズ販売専門の会社を買収するなど、アパレル関連事業へ進出している。

【株の動き】

